



三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2012.7.9

No.2044
No.2



出席率	会員47名中37名
先々週の出席率	95.56%
ゲスト	第4分区ガバナー補佐 杉山太三郎君
ビジター	中条RCより(GE) 山崎堅輔君
先週のメイクアップ	7/5 地区青少年交換委員会会議 (長岡)へ 佐藤嘉男君 7/8 五十嵐川クリーン作戦へ 12名



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長

坂井 範夫

皆さん、こんにちは、ご挨拶を申し上げます。

本日は、「ガバナー公式訪問事前訪問」として、第4分区ガバナー補佐の杉山太三郎様をお迎えしての例会です。

杉山ガバナー補佐、お忙しい中、ようこそおいで下さいました。ありがとうございます。ガバナー公式訪問が2週間後にせまっておりますが、今日はその勉強をさせていただきます。ご指導よろしくお願い致します。

そして、中条ロータリークラブよりガバナーエレクトの山崎堅輔様もおいで下さいました。心より歓迎申し上げます。どうぞ、最後までごゆっくりとお過ごし下さい。

また、今日から新会員の池田稔さんが出席されております。池田さんは10年程前に在籍されておられたことがありますので、“お帰りなさい”ということになります。クラブ活動にご協力よろしくお願い致します。

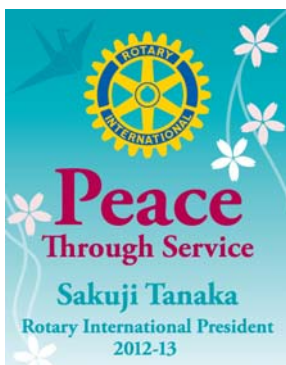
昨日の日曜日、午前7時より『五十嵐川クリーン作戦』が実施されました。田中悌司さんの奥様、馬場輝仁さんの中学生のお嬢さんも一緒に参加して下さい、当クラブは総勢14名で、一新橋から田島橋までの長い区間でしたが、きれいに清掃致しました。皆で力を合わせてやりましたので、爽やかな汗をかき、予定よりも30分程早く、8時半には終了しました。ご参加下さいました皆様、大変ご苦労様でした。

この後、杉山ガバナー補佐よりご指導いただく時間を充分に取りたいと思っております。23日の公式訪問に多くの皆様のご出席をお願い申し上げ、本日の私の挨拶はこの辺で終わらせていただきます。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 田中 作次 [埼玉、八潮]
 第2560地区ガバナー 鈴木 重 彦 [長 岡]
 第4分区ガバナー補佐 杉山 太三郎 [巻]
 会 長 坂 井 範 夫
 幹 事 丸 山 征 夫
 S A A 永 桶 俊 一

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

新会員紹介



池田 稔 (いけだみのる) 君

- <生年月日> 1952 (S27) 年 4 月 20 日
<勤務先> 医療法人社団 池田耳鼻科医院 理事長
三条市一ノ門 1-13-15
TEL (32) 2796 FAX (33) 7451
<自宅> 三条市一ノ門 1-13-16
TEL&FAX (34) 3163
<家族> 妻、長男、次男、三男
<趣味> ゴルフ、釣り

* 以前の入会が 10 年も前とは思ってありませんでした。知り合いが多く、安心しております。
現在医師会の会長を務め、忙しくしておりますが、出来るだけ出席し、クラブ活動に協力したいと思っております。よろしくお願いいたします。

ようこそ三条南ロータリークラブへ



ガバナーエレクト 山崎 堅輔様 (中条RC)

馬場パストガバナーのご指導を受けるため、ひっそりと三条南クラブにおじゃましていただいたのですが、想定外のご挨拶に頭が真っ白な状態です。

本日、再入会のメンバーを迎えられ大変喜ばしい限りです。また、今年度純増 3 名の目標を立てられ努力されておられる姿勢に敬意を表します。

先般、東京で開催されました「元・現・次年度のガバナーの集い」に出席、100 名程の会議でしたが、いろいろと情報交換をいただき、ロータリーを学んできました。また、ロータリー財団地域セミナーにも出席、私の年度から始まる「未来の夢計画」に大変力を入れられて、このプロジェクトにつきましてもみっちり勉強させられました。

何もかも初めてのことで一生懸命勉強をしておりますが、もう少しで後期高齢者です、すぐに忘れてしまう…こんな状態でガバナーを務められるのか不安でいっぱいです。しかし、兎に角、逃げ出すわけには行きません、きちんとやるべきことはきちんとやり遂げる覚悟しております。

私のモットーは「初心忘るべからず」、どんな時にも志した最初の気持ちに戻って頑張っていくと思っております。どうぞ皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



幹事報告



丸山 征夫 幹事

鈴木ガバナー事務所より「国際奉仕フォーラム」開催のご案内

日時 2012 年 7 月 29 日 (日) [フォーラム] 14:00~17:00

[懇親会] 17:30~19:00

会場 [フォーラム] まちなかキャンパス 301 号室 (長岡市大手通り)

[懇親会] バーデンバーデン 2F

※野水孝男国際奉仕委員長出席予定

早朝よりご協力ありがとうございました

7 月 8 日 (日) AM7:00 より「五十嵐川クリーン作戦」が実施されました。早朝より多くの皆様からご参加いただきました。ご協力に深く感謝申し上げます。



<参加者> 田中秀幸さん 馬場末悠さん 坂井範夫君 丸山征夫君 鈴木紈彦君 田代徳太郎君
田中悌司君 銅冶康之君 永桶俊一君 野中 悟君 馬場輝仁君 馬場信彦君 星野健司君 吉井正孝君

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 7月9日 19,000円
今年度累計 46,000円～

坂井君 杉山第4分区ガバナー補佐、中条RCの山崎ガバナーエレクトを歓迎して！！また、新会員の池田さんが今日から出席です。

馬場(信)君 山崎堅輔ガバナーエレクト、杉山太三郎ガバナー補佐の両名を歓迎申し上げます。三条南へのご指導をよろしくお願い致します。また、池田先生の入会を歓迎します。

坪井君 池田 稔先生の再入会を歓迎します。クラブ発展の為、よろしくお願い致します。

大溪君 池田先生の再入会を祝して！

鈴木(囃)君 池田 稔先生の三条南RCへの入会、歓迎致します。

野中君 山崎ガバナーエレクト、杉山ガバナー補佐を歓迎して・・・！

佐藤(秀)君 クリーン作戦に欠席してすみません。BOXに協力します。

荒澤君、石山君、草野君、熊倉君、坂本君、滝口君、田中君、銅冶君、野崎君、平松君 BOXに協力！

安達君 BOXへの協力に感謝して！池田先生の入会を歓迎して！

Speech 



卓話

公式訪問事前訪問

第4分区ガバナー補佐
杉山太三郎様 (巻RC)

今年度第4分区ガバナー補佐を務めます巻クラブの杉山です。本日は、23日の「鈴木ガバナー公式訪問」の事前訪問としてお伺い致しました。

第4分区で一番早い公式訪問です。地区内でも17日の新潟RC、20日の高田RCに次いで3番目となります。新年度早々、現況報告書の作成等大変ご苦労されておられることと思いますが、よろしくお願い致します。

また、新会員を迎えられた日に事前訪問出来ましたこと、大変嬉しく存じます。第4分区372名でスタート致しましたが、本日より373名となりました、ありがとうございます。

三条南クラブは今年度会員増強目標が、純増3名とのこと、皆様のロータリーへの意識の高さを痛感しております。



事前訪問に際しまして、最初に鈴木ガバナーの地区運営方針等についてご紹介申し上げます。

I 地区年度テーマは、「怒の心を以って・奉仕を通じて平和を」

II 地区区運営方針は、

始めに

田中R1会長は「それぞれの職業を通じて社会に奉仕できるというチャンスを大切にしよう。その為には、ロータリーが大切にしている職業奉仕にフルにチャレンジしてほしい。その原動力が会員の個々の力だ、会員の増強と資質の向上はロータリーの明日を左右する極めて重要なことだ。ぜひ取組みを強化していただきたい。ロータリーは日々変化している、ともに明るい未来を信じて進もうではないか」と訴えられました。

しかし、この目的に近づくためには根本に「怒」の心がなければ超我の境地は理解できないと考えます。ロータリーの究極のターゲットは「世界平和の達成」であり、そこに進むためにロータリアン一人ひとりが日々の生活の中で明確に意識し活動に生かしましょう。

基本姿勢

「怒を以って和を為す」の精神でRIテーマ「奉仕を通じて平和を」というロータリーの究極目標を全ての活動の基に置き、足元からの充実を図り、以って世界平和に貢献する。

活動の規範

活動は「怒を以って和を為す」を根底に四つのテストに照らして行いましょう。

- ・ロータリーの友情は互いに思いやり、慈しみあう「怒」にあると考えます。
- ・「怒」は自然と共生してきた日本人の真骨頂であり、日本文化の源泉です。
- ・この精神を共有し、取り巻くあらゆるストレスや困難に凜として立ち向かい、未来を築きましょう。

地区目標

1、RI戦略計画の3つの優先項目を支援する。

①クラブのサポートと強化

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる

- ・さまざまな奉仕活動に参加するよう奨励する

- ・会員の増強と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・クラブと地区における長期計画の立案を奨励する

②人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオを撲滅する
- ・以下の分野における奉仕の継続性を高める
 - 新世代奉仕プログラム
 - ロータリー財団の6つの重点分野
- ・他団体との協力やつながりを深める
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する

③公共イメージと認知度の向上

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・行動を主体とした奉仕を推進する
- ・中核となる価値観を強調する
- ・職業奉仕を強調する
- ・クラブにおけるネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の主な活動について周知を図るようクラブに奨励する

続きまして、公式訪問時のクラブ協議会についてのお願いです。協議会は、例会後、1時間程度の予定ですが、

- ① 会長の年度方針発表
- ② 委員会の年度計画発表
- ③ ガバナーによる質疑応答
- ④ ガバナー補佐スピーチ（総括）

の流れで進行していただきたいのですが、ただ、委員会の年度計画発表に際しましては、現況報告書掲載の事業計画書を読み上げるのみでなく、委員会の活動状況、今後の活動計画内容、委員会活動を通してロータリーについて考えること…等々、真の声をお聞かせいただきたいとのガバナーからのご要望です。また、ガバナーへのご質問がございましたら、事前に内容をお知らせ下さいとのことです。

最後に、巻クラブがホストを務め開催致します「第4分区IM」につきまして、ご案内致します。

		第4分区IM開催要項	
日時	2012年9月29日(土)		
会場	巻農村改善センター	ほたるの館	
スケジュール	12:30~13:00	受付	
	13:00~13:20	・開会点鐘	・開会挨拶
		・歓迎の言葉	・来賓挨拶
	13:30~14:40	基調講演	
		防衛省自衛隊新潟協力本部長 1等陸佐 吉田賢一郎様	
	14:40~15:00	五ヶ浜海岸へバスにて移動(2.5km…歩きも可)	
	15:00~16:00	五ヶ浜海岸清掃	
	16:00~17:15	じょんのび館で入浴	
	17:30~19:00	親睦交流会	

上記内容にて準備を進めております。いつものIMを放れ、ともに行動し、汗をかき、親睦を育み友情が生まれ結ばれる分区内共通事業として企画、実行致したいと考えております。各クラブ50%登録をお願い致します。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、分区ロータリアンが交流を深めていただければと願っております。

また、折角ガバナー補佐という機会に恵まれましたので、『第4分区合同会員名簿』の作成を検討しております。三条市内4クラブの合同名簿を参考にさせていただき、

* 見やすく * 分区内373名のPRコーナー(会員事業所PR…)を設ける等々した、皆で情報を共有できるような名簿を考えております。

いろいろな活動を通して、試行錯誤しながら分区のマナー化から脱皮できればと、分区の活性化に繋がればとガバナー補佐職に尽力したい所存です。どうぞ、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

田中作次R1会長が、「ロータリークラブ強化への100のヒント」を示されました。クラブ運営に役立つアドバイスです。どうぞ、このヒントを生かしてクラブ活性化にご尽力をお願い致します。

ロータリークラブ強化への100のヒント

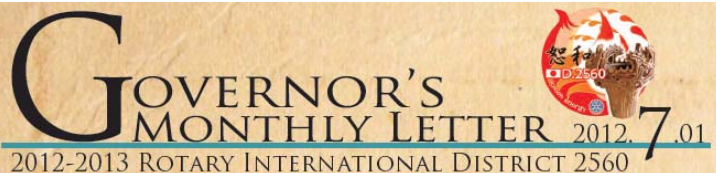
- 1 焦点を絞った奉仕活動を行う
- 2 委員会の数をクラブの規模に合わせて調整する
- 3 派閥のない風通しの良いクラブをつくる
- 4 みんなが仲良く、誰とでも話し合いができる雰囲気をつくる
- 5 5年未満の新会員研修を行う
- 6 年齢のバランスを改善し、クラブの中・長期計画にも反映させる
- 7 社会人としての倫理観、信義感、そして奉仕への意欲をもつ人を会員として勧誘する
- 8 クラブ会長は謙虚に、クラブを改善させるために、誰からでも意見やアイデアを聞くこと
- 9 例会の時間を厳守する：時間延長は、来訪者や会員に迷惑をかけるだけでなく、会員の貴重な時間を奪うことになる
- 10 退会者を増加させることのないよう、頻繁な例会日の変更は避ける

- 11 例会を頻繁に欠席する会員に気を配り、早い段階で問題を解決する。クラブ会長と委員長が、長期間例会を欠席している会員を訪ね、欠席理由を聞き出し状況把握につとめる
- 12 クラブは3~5年間の中・長期計画を作り、計画に沿って毎年実行する
- 13 同業者、友人、親戚、隣人や趣味を同じくする人を勧誘する
- 14 未来にロータリーを託す人材を育成するため、会員への教育と研修を向上させる
- 15 会員増強及び拡大月間である8月に、会員増強キャンペーンを実施する
- 16 クラブの充実と活性化を図るため、クラブ会員と幹事のやる気を引き出す
- 17 クラブに質問箱（意見も含む）を設置し、該当する委員会が回答する
- 18 退会者は本当の退会理由を言わない場合が多いので事前に真の問題点を推測する
- 19 会員が互いにより親しくなれるよう、例会での着席テーブルを定期的に更新する
- 20 会員をロータリアンとして成長させることができるよう、委員長や副委員長が持てる能力を十分に発揮し、活発な委員会づくりをする
- 21 魅力的な奉仕プロジェクトや例会プログラムを実施するよう心がける
- 22 可能であれば、配偶者同伴の例会を毎月1回、または、数回実施する
- 23 ロータリー財団への寄付（毎年100ドル以上）の重要性をロータリアンに伝える
- 24 ロータリーは人生道場、例会が会員一人ひとりにとって役立つものとなるよう意識する
- 25 「四つのテスト」を重視し、個人生活、社会生活、職業生活に適用させる
- 26 会員はおもいやりの心を持ち、他人を理解しようと心がける
- 27 事務局員に負担をかけないように、会員が可能な限り週報を発行し、コミュニケーションを促進する
- 28 各委員会の運営基準や行動マニュアルを作成し、定期的な見直しを行う
- 29 クラブ例会のマンネリを防ぎ、常に創造的な例会の維持を図る
- 30 クラブの特徴や長所を探し、適宜改善しながら全会員で共通の理解を図る
- 31 会場費がより安い場所に変更できないかを検討する
- 32 会費の見直しと委員会の使用経費を分析し、予算を有効活用する
- 33 大半のクラブ例会が夜に行われているため、昼の例会を夜の例会に変更することを検討する
- 34 例会をより有意義な時間とするため、創意工夫をこらす
- 35 クラブ年会費のほかに、余分な徴収をしないように注意する
- 36 高価でなくとも斬新な食事を選び、マンネリ化を防ぐ
- 37 会員増強の成功例を参考にする
- 38 できない理由を探すのではなく、できる方法を探す習慣を身につける
- 39 ロータリーは知り合いを増やす絶好の機会を提供する組織である
- 40 会員増強が難しいという前に、今までにどれだけ増強の努力をしたかを見直す
- 41 同じ条件下で素晴らしい増強を見せるクラブもあり、それはなぜか考える
- 42 人生をさらに豊かにするために、異なる背景を持つ人たちと交流する
- 43 ロータリーは、たくさんの新しい友人をつくる機会を提供する
- 44 ロータリーという組織と地域社会奉仕の内容を、分かりやすく地域に伝える
- 45 クラブ会長がエレクト年度から会員増強に努める
- 46 全ての会員が、クラブ数拡大の時と同じように、会員増強に参加する。そのために、グループ単位で計画し、実行する
- 47 入会へ勧誘されたことのない人がまだ沢山いる
- 48 親睦と奉仕活動のバランスを意識する
- 49 多忙な人ほど時間の使い方がうまいため、そのような人を会員候補者として推薦する
- 50 自分が誰の推薦によって会員になったかを思い出し、今度はそのお返しをする
- 51 会員の行動、奉仕、達成、偉業、お祝い、親切心などを褒めたたえる。
- 52 元ローターアクター、元GSEメンバー、財団プログラム学友を勧誘する
- 53 管理職や専門職務に携わる40歳以下の会員からなる成るクラブを設立する
- 54 40歳以下の若い会員に対し、年会費を半額にすることを検討する
- 55 年に何回かゲストデーを設け、全会員が交代で友人や会員候補者を例会に招く
- 56 1989年に女性会員の入会が認められ、現在世界の女性会員は19万人を超えている。女性会員を増やすために、十分な努力をしているか検討する
- 57 ロータリーは、週1回例会を開く、世界で最も長い歴史を誇り、最も伝統ある最大のNGOである
- 58 会員候補者でない人も例会に誘えば、広報に役立つだけでなく、数年後には会員として入会する可能性もある
- 59 例会ではできる限り積極的に多くの人々の名前を呼んで、挨拶するように努力する
- 60 先輩会員は、新会員をメークアップ、地区大会、国際大会に連れて行くよう努力する
- 61 どんな組織にも長所と短所があり、ロータリーには長所が短所よりも多いため、105年間も続いできた
- 62 会員の3つの責務：会費の支払い、ロータリー雑誌の購読、例会への出席
- 63 ロータリアンは社会人の模範であり、青少年の模範でもなければならぬ
- 64 例会や他の諸会合を通じて、ロータリアンから学べることは非常に多い
- 65 仲間のロータリアンから、問題解決や目標設定に必要な情報を得ることができる
- 66 ロータリーによって自分の人生が変わったという人が多くいる
- 67 自分を成長させるため、目標となるモデルをロータリアンから選ぶ
- 68 全ての会員が委員会に参加し、適切な役職を任せられるように機会を提供する
- 69 時間は貴重なもので、時間が無駄になったと思われないような例会を計画する
- 70 ロータリアンの特典と義務をよく理解する
- 71 新会員だけでなく、その他の会員にもロータリーの基本情報を提供する
- 72 ロータリーを通じて世界を知り、世界に貢献する
- 73 新会員や若い会員がクラブに溶け込めるよう、先輩会員が親しく声をかける
- 74 クラブは、奉仕の真の意味を学べる場所である
- 75 ロータリーの魅力とは、人の心をロータリーに引き付ける不思議な力のことを言う
- 76 クラブ委員会は活発に活動し、例会で委員会報告をする

- 77 諸会合において、国際ロータリーの席次を守る
(2010年手続き要覧73-75頁を参照)
- 78 先輩会員が新会員に個人的体験談を話す習慣をつくる
- 79 人と会った時には、相手よりも先に挨拶する
- 80 例会終了時に、例会の改善点を確認する
- 81 他のクラブとの共同事務局(事務所)や例会場所の設置を検討する
- 82 例会にふさわしくない場面や事態があった場合も、反面教師として学び、改善につなげる
- 83 いつも他人から学ぶ姿勢で例会や諸会合に臨む
- 84 先輩会員は、新会員の隣に座り、よく話かける
- 85 新会員に、1年以内に会員候補者を推薦するよう依頼するのも良いアイデアである
- 86 クラブの会員全員が、5年ごとに最低一人の会員候補者を推薦する
- 87 クラブ会員として自己啓発を行い、社会のために役立つことを理解し実践する
- 88 意義ある年間計画を立て、定期的評価を行う
- 89 ロータリーに対し熱意を持ち、ロータリーの魅力はロータリーを深く理解することから始まると認識する

- 90 会員全員に、クラブにとって絶対に必要な存在であると感じてもらえるようにする
- 91 会員にとって何が最も重要かを把握するためのアンケート調査を実施する
- 92 ロータリーへの理解を深めてもらうよう、地域社会に働きかけることが広報活動の基本である
- 93 記念行事などに、出来るだけ配偶者、家族、ゲストに積極的に参加してもらう
- 94 新会員に親切に接し、思いやりを示す
- 95 「好きこそものの上手なれ」と言うように、会員との効果的なコミュニケーションを図り、会員にロータリーをもっと好きになってもらい、能力を最大限に発揮してもらう
- 96 ロータリーは、利己と利他の調和を目的とする、人生哲学と言われている
- 97 新会員の退会防止のため、入会前に正しい情報を提供する
- 98 親しきな仲にも礼儀あり、ということをお忘れなく
- 99 各会員の長所を認識し、それを信頼する
- 100 褒め言葉は惜しみなく与える

ROTARY NEWS



ガバナーメッセージ



ガバナー就任にあたって

国際ロータリー第 2560 地区
2012～13 年度 ガバナー
鈴木 重彦(長岡RC)

鈴木年度の船出にあたり、まずもって、ガバナー補佐並びに各クラブの会長並びに運営関係者、地区活動を支えて頂きます担当委員会の皆様、そして地区全体のフォローアップをいただきますパストガバナーの皆様方、地区内すべてのロータリアン同志の皆様、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、鈴木年度で特筆すべきことに、RI会長に日本から田中作次氏が輩出されたということはお案内の通りであります。何より衆目の心をつかんだことはロータリーの目指す究極目的である「世界の恒久平和」の実現に向け、先の大戦での苦い経験を持つ日本人として全世界に向けて高々と「奉仕を通じて平和を」というテーマを掲げられたことであります。昨今の国際情勢の閉塞感からして、まさに的を得たテーマであり、ロータリーの究極である「超我の奉仕」に直結する理念でもあります。

このテーマの具現に向け、我々は機会を通じて日本人としての立ち位置の向上と世界に向けて「平和の尊さ」を強くアピールしなければなりません。

とはいえ、人間の「業」がひしめく現世で、その実現は並大抵なことではありませんが日本精神の根底に受け継がれた「怒」の心根を大切に、あらゆる場で具現する努力がその一歩となることを確信しております。

この又と無いチャンスに、会員の皆様方と共に「怒の心を以って・奉仕を通じて平和を」のスローガンを形にすべく、一丸となって取り組んで頂きます事を強く願うものであります。

皆様のますますのご健勝とご発展を願いつつ、ロータリアンであることの喜びを実感できる楽しい一年を目指して船出いたしましょう！ 面舵いっぱい、ヨーンロー「宜候」！！

次週例会 7月30日 歴代会長卓話 佐藤 秀夫 第35代会長
次々週例会 8月6日 クラブ・フォーラム&ショートスピーチ



表紙について

あの日の一枚・・・

「第1回公式訪問・前原勝樹ガバナー公式訪問」

1969年1月20日

於：三条信用金庫本店(現中央支店)

三条南ロータリークラブ週報

2012. 7. 9

No.2044 No. 2